

2004年3月9日

東京外国為替市場委員会 第70回会合 議事録

開催日時	2004年1月21日 13:00～15:00
場 所	日本銀行本店 新館9階第1会議室
議 長	荻野 哲司 (東京三菱銀行)
副 議 長	加島 章雄 (みずほコーポレート銀行)
副 議 長	梨本 忠彦 (パークレイズ銀行)
書 記	川添 敬 (日本銀行)
委 員	16名 (別紙)

I. 副議長選任の件

荻野議長（東京三菱銀行）より、加島副議長（みずほコーポレート銀行）の副議長としての任期（1年）が満了するため、副議長の選任を行いたい旨、報告されました。加島副議長から再任の意思が表明され、満場一致で再任が決定されました。

II. 綱要改訂付議

野手運営小委員長（三井住友銀行）より、市場委員会綱要改訂版の文案が示され、承認されました。

III. 小委員会活動報告

1. 運営小委員会

大木委員より、1月初旬に数回発生した EBS ディーリングシステムにおける一連の障害について、以下の通り報告がありました。

1) 障害の要因について

①EBS が契約する通信会社の回線が遮断

—— 回線には、複数の経路を用意していたが、バックアップ回線への切り替えに約90秒間要した。

②EBS Ticker Feed のデータ配信が中断

—— 社内規程に反し、日中の時間帯においてバックアップ作業が行われたことが原因。

③取引処理速度の遅延

—— 一部の通信回線、システムハードウェアの容量、および処理能力の不足が原因。

2) ニューヨーク、ロンドンの市場委員会においても上記と同様の説明を実施。

本件障害の発生により、短時間ながら取引不能となったほか、グローバルな外国為替市場において市場間にレートの格差が生じる現象が生じ、各銀行で顧客とのトラブルも生じたことに鑑み、EBS 等情報ベンダーに対し、障害対策を強化するよう求めていくことで意見が一致しました。

同時に、このような障害の発生する確率を皆無にすることは不可能であることから、ユーザーサイドでも、障害発生時に円滑な取引を行えるような体制を整えておくべきとの点でも意見が一致しました。

2. 教育小委員会

今井小委員長（UFJ 銀行）より、フォレックス・クラブと合同で開催するセミナー（2 / 18 日予定）の現時点での参加状況について報告があり、これを受けて各委員レベルで参加の呼び掛けを再度行うこととなりました。

3. Code of Conduct 小委員会

野口オブザーバー（マネー・ブローカーズ・アソシエーション）より、改訂版 Code of Conduct（2003 年版オレンジブック）について、配布状況や在庫管理方法、当面の間の増刷見送り、海外の市場委員会やフォレックス・クラブへの無償配布、フォレックス・セミナーにおける頒布について説明があり、了承されました。

4. 決済小委員会

市川小委員長（みずほ銀行・欠席）に代わり、寺澤オブザーバー（東京三菱銀行）より、以下の報告がありました。

1) CLS 銀行から、CLS 決済を行った為替取引に係るコンファメーションについて、6 月以降は SWIFT の MT300 の送受信を行わない事をベスト・プラクティスとする旨の通知を受けたが、その法的解釈等について CLS 銀行に照会中。

2) CLS 銀行からの返答を受けて、決済小委員会で協議を開始する予定。

5. 市場調査小委員会

加島小委員長より、EBS 社 “Prime Broker” の導入に関する見解を海外各国市場委員会に対して問うとともに、東京外国為替市場委員会としての見解を表明するために意見書等を発出することについて、引き続き小委員会で検討している旨報告がありました。